

# 小原誠一 弾き語り演奏会

12月11日小原さんが「さくらめいと」でギター弾き語りの演奏会を開きました。

会場には約50名の仲間、関係者が集まり熱心に、応援と演奏に耳を傾けました。



小原誠一  
弾き語り演奏会

日時 2019年12月11日(水)  
13時 開場 13時30分開演

場所 熊谷市 さくらめいと 第1練習室

住所 : 360-0846 熊谷市拾六間 111-1  
TEL : 048-532-0002

演奏曲目

青葉城恋唄 精霊流し 無縁坂 秋桜 ふれあい 恋人よ  
乾杯 少年時代 昂 シクラメンのかほり さよならの向う側  
五番街のマリー 三郎物語 いち日旅立ち 涙どうぞう 時代 他  
( 曲目は変更する場合があります。 )

入場無料

問い合わせ  
070-6405-7008 (小原)



挨拶では、「いきがい大学を卒業の時に始めたギター弾き語りですが、5年半の歳月が経ちました。腕前の方は、まだまだなのですが、70歳も過ぎて何時まで出来るかという不安を感じる事もあり、これまでの練習成果を披露する場を計画いたしました。」との事。



第1部は、  
ギター弾き語りを始めたきっかけとなった曲  
「青葉城恋唄」、続いてさだまさしの曲を3曲  
「精霊流し」、「無縁坂」、「秋桜」、

そして「乾杯」、「少年時代」の6曲を見事に  
弾き語りました。





第2部は師事している歌の先生と一緒に、  
谷村新司の曲を3曲  
現役時代を思い出す“中年サラリーマンの応援歌”  
といわれた「昴」、  
JR のコマーシャルに使用されている「三都物語」、  
「いい日旅立ち」、

高橋真理子の「五番街のマリー」、  
会社の先輩が昔、弾き語りをしていたという  
布施明の「シクラメンのかほり」  
の計5曲を熱唱、熱演



ここで一休み！



会場の皆さん



受付のNさんコンビ







休憩後、第3部は  
沖縄らしさができるかどうか？「涙そうそう」、  
山口百恵がファイナルコンサートで唄った曲で、  
現在旭化成のCMで使われている「さよならの  
向う側」、  
中村雅俊の曲でいつの間にか耳に入っていた  
という「ふれあい」、

現役時代スナックのカラオケでよく唄ったという  
五輪真弓の「恋人よ」、  
最後には、中島みゆきの「時代」



終わりに小原さんから、  
「無事にコンサートができ、前からの夢がかなったこと。  
色々な仲間の方の出助けに感謝していること。  
これからも弾き語りは続けていきたいこと。など感謝  
の弁と共に話されました。

コンサートは約1時間半、予定された16曲を、小原さんは見事に弾き、唄いきりました。

ステージ周りには、オカリナクラブや仲間の方々の協力によってきれいな花々が飾られ、素敵な演奏会でした。60過ぎてから始め、独奏会を開くようになるには、才能もあるでしょうが、小原さんの日々の努力とそれをやり遂げる根性は、並大抵ではないと思いました。同時に、聴いているわれわれも元気を貰い、まだまだ頑張らなければと思った方も多いのではないかと思います。

良い演奏会を聴かせて頂き、ありがとうございました。

また、準備や当日のお手伝いされた方々、お疲れさまでした。

2019.12.11

(記・写真) 加藤 治朗